

相互秘密保持契約

参照用テンプレート。 本書は、契約締結前に当社の標準的な契約条件をご確認いただけるよう、プレーホルダーを設けた上で提供しています。本書は法的助言ではなく、両当事者によって記入・日付記入・署名が完了するまで拘束力を持ちません。各契約は、正式に締結された契約書が優先します。

この相互秘密保持契約（以下“本契約”といいます）は、**[DATE]** 付で、以下の当事者間において締結されます。

[CLIENT NAME]（**[JURISDICTION]** において登記され、登記番号 **[COMPANY NUMBER]**、登記上の本店所在地は **[CLIENT ADDRESS]** である会社）（以下“クライアント”といいます）、および

VAVELIO LTD（イングランドおよび ウェールズにおいて登記され、登記番号 16558123、登記上の本店所在地は 128 City Road, London, EC1V 2NX である会社）（以下“Vavelio”といいます）

各当事者を“当事者”といい、両者を総称して“当事者双方”といいます。

1. 目的

当事者双方は、データセンター基盤、グローバルネットワーク、および セキュリティアーキテクチャの設計、展開、運用に関する潜在的な取引関係について 協議することを希望します（以下“目的”といいます）。

2. 秘密情報

“秘密情報”とは、一方の当事者（以下“開示者”といいます）から 他方の当事者（以下“受領者”といいます）に対し、本契約の締結日以前または以後に、 目的に関連して、技術設計、アーキテクチャ、セキュリティ設定、事業計画、クライアント情報、価格情報、財務情報を含むいかなる形式でも開示されるすべての情報を 意味します。口頭で開示された情報は、開示時点で機密であると特定され、かつ 14 日以内に書面で確認された場合に限り、秘密情報とみなされます。

限定なく、すべてのアーキテクチャ文書、サービス設計、および目的に関連する 一切の事項は、高度な機密情報として扱われます。

本契約は、秘密情報のいずれかが営業秘密に該当する限りにおいて、 コモンロー上の秘密保持義務 および 2018 年営業秘密（執行等）規則（SI 2018/597）に基づく当事者双方の義務を補足するものであり、これを制限するものではありません。

3. 受領者の義務

受領者は、次のことを行うものとします。

- すべての秘密情報を秘密に保持し、いかなる第三者にも開示しないこと。

- ・ 秘密情報を目的のためにのみ使用すること。
- ・ 秘密情報を、それを必要とし、かつ本契約と同等以上に保護的な義務を負う従業員および契約業者にのみ開示すること。および
- ・ 秘密情報を、自らの同程度に重要な秘密情報に対して用いるのと同等以上の注意をもって保護し、いかなる場合においても合理的な注意を下回らないこと。

4. 除外事項

秘密情報には、次の情報は含まれません。

- ・ 本契約違反によらずに公知である、または公知となった情報。
- ・ 開示前に秘密保持義務を負うことなく受領者が適法に保有していた情報。
- ・ 秘密保持義務を負わずに第三者から受領した情報。または
- ・ 秘密情報を使用せずに受領者が独自に開発した情報。

受領者は、法令、裁判所命令、または権限ある規制当局により要求される範囲で 秘密情報を開示することができます。ただし、法律上可能な範囲で開示者に 速やかに通知し、開示を必要な範囲に限定することを条件とします。

5. 公表の禁止

クライアントは、Vavelio の事前の書面による同意なしに、自社のウェブサイト、 マーケティング資料、またはあらゆる公開フォーラムにおいて、Vavelio と 取引していることを公に開示してはなりません。秘密情報が開示されない限り、 友人同士の会話における私的な言及は許可されます。

6. クライアント情報の販売・共有の禁止

Vavelio は、クライアント情報を第三者に販売、貸与、または共有することは 決してありません。クライアント情報は、本契約に基づくサービスの提供にのみ 使用されます。個人データは、英国一般データ保護規則（UK GDPR）および 2018 年データ保護法（Data Protection Act 2018）に従って処理されます。

7. 違反と補償

本契約に違反があった場合、違反していない当事者は、管轄権を有する裁判所が 認定する損害賠償を受ける権利を有します。

また別途、法的義務ではなく Vavelio 自身の信条に基づく措置として、Vavelio は 何よりもまず、説明責任の表明として、クライアントの月額費用の 2 倍に相当する 補償をクライアントに提供することを望みます。これは完全に Vavelio の判断です。Vavelio がそのような補償の提供を断る場合、Vavelio はクライアントに対し、この件を公にし、それに応じて Vavelio を評価することを勧めます。クライアントが そうした場合、Vavelio は、その判断に反対した理由を説明する自社の声明を 喜んで公表します。提供される補償は、クライアントの選択により、(a) 将来のサービスに対するクレジット、(b) 支払済み金額の返金、または (c) コンサルティング時間のいずれかの形で提供されます。

8. 担当者とセキュリティ審査

クライアントの従業員または契約業者は、本契約（またはこれに相当する秘密保持 誓約書）に署名し、その身元が Vavelio に通知されるまで、Vavelio に関する いかなる情報にもアクセスすることはできません。

契約業務が物理的なデータセンターの建設を伴う場合、Vavelio 関連区画に 配属されるすべての担当者に対して、心理的または精神的適性評価の実施が 必須となります。クライアント関連区画については、そのような評価は完全に クライアントの判断に委ねられます。評価は、本人の事前同意を得て、適用される データ保護法令に従って実施されるものとします。

すべての Vavelio 関連区画への入退室管理は、完全に Vavelio によって管理されます。これらの区画へのアクセスを必要とする者は、アクセスが許可される前に、まず Vavelio に登録し、Vavelio が要求するすべての情報を提供しなければなりません。これらの区画への入場は、カード ID、指紋スキャン、および眼球スキャンの 3 段階のセキュリティによって保護されています。これらの区画へのすべての アクセスはカメラで監視されています。電波遮断装置および許可されていない 電子機器は禁止されています。入口の金属探知機は金属を検知した場合に アクセスを無効化し、金属が存在しなくなるまでアクセスは無効のままとなります。

アクセス制御のために収集された生体認証データは、暗号化された形式で クライアントのデータベースに保存されます。Vavelio は当該データに直接 アクセスすることはできず、Vavelio のソフトウェアを通じて、厳密に 読み取り専用の形でのみ、暗号化されたデータ（生の生体認証データではありません）を検証します。各デバイスは自らのテーブルにのみアクセスでき、Vavelio 自身は生体認証データを保持しません。

クライアントは評価を拒否する権利を有します。その場合、クライアントは、Vavelio のウェブサイトに記載された引き継ぎ手順に従ってパートナーシップを 解消することができます（vavel.io/independence を参照）。

Vavelio が、クライアントの担当者が Vavelio のインフラストラクチャの セキュリティに対する現実の脅威となっていると合理的に判断した場合、Vavelio はその判断の根拠を書面でクライアントに説明し、かかる担当者の Vavelio インフラストラクチャへのアクセスを直ちに取消すことを 要求することができます。

クライアントが、Vavelio の評価が誤りであることを示す書類または証拠を 提供することなく Vavelio の判断に異議を唱えた場合、Vavelio は本契約および クライアントとの関連する関係を解消し、ウェブサイトに記載された標準的な 引き継ぎ手順に従う権利を有します（vavel.io/independence を参照）。

9. 仮想データセンターへのアクセス

いかなる者も、root アクセスまたはユーザーインターフェースのいずれによっても、データセンターのノードにアクセスすることはできません。クライアントは、指名されたエンジニアに任意のタスクの実行を依頼することができ、そのエンジニアは オートスケーリングを含むすべてを API ゲートウェイを通じて展開します。

直接アクセスを必要とする例外的な状況では、Vavelio はカード ID または 仮想 ID を発行します。このようなアクセスには、ノードへのログイン時に エンジニアが立ち会うことが必要です。直接ア

アクセスはすべて一時的なもので、30 分間に限定され、その後自動的に失効します。このようなアクセス中、エンジニアは読み取り専用アクセスのみを保持し、管理アクセスは決して保持しません。

VINS、VNTP、VDNS を含むすべての Vavelio 製品は、クライアントの管轄区域の完全に外部で運用されます。

すべてのアクセスは、ケースとランクを備えた軍事レベルのアクセスシステムを再現する、Vavelio のアクセス・ポータルである Kratos を通じて厳重に監視されます。Vavelio が、従業員 ID が不正使用された、またはなりすまし者によって使用されたと判断した場合、Vavelio はその者を全面的にブロックし、新しい ID の発行を拒否することができます。

クライアントは、クライアント自身のアプリケーションまたは要件のために構築されたすべての仮想マシンに対して直接の管理者アクセス権を有します。ただし、そのマシンが Vavelio 関連サービスでない場合に限りです。

クライアントは、かかる仮想マシンへの外部アクセスを許可することができます。ネットワークスキャンソリューションは一切禁止されており、直ちにブロックされ、仮想マシンが一時的にブロックされる可能性があります。

クライアントが第三者ベンダーに仮想マシンへのアクセスを許可した場合、クライアントはそのベンダーの行為に対して全責任を負います。

第三者ベンダーのログインは、すべて Vavelio の PAM ソリューションを通じて提供されるものとします。リモートデスクトップソフトウェアその他関連するリモートアクセスソフトウェアの使用は禁止されています。Vavelio がかかるソフトウェアの使用を発見した場合、クライアントが状況の説明を行うまで、Vavelio はアクセスを全面的に無効化することができます。すべてのサービスは中断なく稼働し続けます。ブロックされるのはアクセスのみです。

10. 存続期間

本契約は、当事者双方の取引関係が継続する全期間（クライアントが Vavelio のクライアントである限り）にわたり有効に存続します。関係終了後も、営業秘密に該当する情報に関しては、義務は無期限に継続します。

11. 情報の返還

開示者の書面による要求または本契約の終了により、受領者はすべての秘密情報を速やかに返却または破棄し、その旨を書面で確認するものとします。

12. ライセンスまたは保証なし

明示的に記載された場合を除き、ライセンスその他の権利は付与されません。秘密情報は、いかなる表明または保証もなく“現状のまま”（as is）で提供されます。

13. 契約締結義務なし

本契約のいかなる条項も、いずれかの当事者に対し、さらなる契約または取引の締結を義務付けるものではありません。

14. 準拠法

本契約は、イングランドおよびウェールズの法律に準拠し、これに従って解釈されます。当事者双方は、イングランドおよびウェールズの裁判所の専属管轄権に服します。当事者でない者は、1999年契約（第三者の権利）法（Contracts (Rights of Third Parties) Act 1999）に基づき、本契約の条項を執行する権利を有しません。

15. 署名

クライアントのために署名

署名

氏名および役職

日付

VAVELIO LTD のために署名

署名

氏名および役職

日付

テンプレート最終更新日: 2025年7月。完成版をご希望の場合は、support@vavel.io までお問い合わせください。